

—日本と東南アジアをつなぐ文化交流事業—

映画・映像専攻学生の交流プログラム 第2弾

公開イベント：映画制作企画プレゼンテーションも実施

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)アジアセンターは、日本と東南アジアで映像製作や映画理論を学ぶ学生を集め、グループワークを通してアジアで共に生きる者としての共感や共生、そして将来の作品作りの糧となる国際的視野を育むことを目指し、「...and Action! Asia —映画・映像専攻学生交流プログラム—」を2015年より開始しています。

2年目となる本年は、対象地域をインドネシア、タイ、フィリピンに加え、ベトナム、ミャンマーに拡大。各国の大学で映画・映像を専攻する学生計15名が指導教員と共に来日し、映像表現と映画発信について多角的な視野を養う機会として、日本国内の映画関連施設の視察や現役映像制作者による特別講座に参加します。

また本年の目玉として、日本滞在中には、日本と東南アジア5か国の学生が10日間のワークショッププログラムで混成チームを構成し、東京を舞台にした短編映画の企画作成とリサーチを実施。プログラムの後半には、チームごとに作り上げた映画企画を、学生自ら公開プレゼンテーションにて発表し、プロの映画人による講評をうけ、将来的な国際共同製作の可能性を模索します。ぜひ、この機会に映画界の次世代を担う学生たちをご取材いただけますと幸いです。



■ 「...and Action! Asia#02 —映画・映像専攻学生交流プログラム—」 概要

- 【日程】 2016年3月6日(日)～3月15日(火)
 【参加大学】 インドネシア/ジャカルタ芸術大学、タイ/シラパコーン大学
 フィリピン/フィリピン大学、ベトナム/ホーチミン映画演劇大学
 ミャンマー/ヤンゴン国立芸術文化大学、日本(受入機関)/日本映画大学
 日本(協力機関)/早稲田大学、立命館アジア太平洋大学
 【主催】 国際交流基金アジアセンター
 【共催】 日本映画大学

■ 公開イベント 概要

- 【日時】 2016年3月13日(日) 13時～17時45分 (12時30分開場)
 【会場】 国際交流基金 JFIC ホール[さくら]
 【参加費】 無料(事前予約不要)
 【定員】 100名
 【言語】 日英同時通訳

< 講評者(50音順・敬称略) >

諏訪敦彦(映画監督、東京芸術大学 大学院映像研究科教授)、安岡卓治(日本映画大学教授、プロデューサー)、藤岡朝子(山形国際ドキュメンタリー映画祭理事) ※予定

※終了後、交流レセプションを予定しています(参加無料・事前予約不要)。

※事業の詳細につきましては、(<http://jfac.jp/culture/dictionary/andactionasia/>) をご覧ください。

●主催者・本事業に関するお問い合わせ: アジアセンター 文化事業第1チーム (担当:掛谷、村田、西川)

Tel: 03-5369-6140 / Fax: 03-5369-6141

●取材に関するお問い合わせ: コミュニケーションセンター(担当:川久保、森)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp